

株式会社ウェッジホールディングス 会社説明会

2009年8月29日

株式会社ウェッジホールディングス
代表取締役社長 田代 宗雄

はじめに

■ 田代 宗雄(説明者) 略歴

1972年生まれ (36歳) 大阪府 出身
1997年3月 大阪大学 文学部 卒業

1997年4月 株式会社パソナ 入社

◆2001年4月 NOC日本アウトソーシング株式会社 転籍

2002年12月 株式会社ワークスアプリケーションズ入社

2007年10月 アジアパートナーシップファンド(APF)入社

2007年12月 当社代表取締役専務

2008年5月 当社代表取締役社長(現任)

Contents

■ 会社概要と沿革

企業概要

3つの事業セグメント

ウェッジHDグループ各社

コンテンツセグメント 主要事業

物販セグメント 主要事業

投資育成セグメント 主要事業

グループ沿革

2007年 3期連続の赤字から現経営体制へ移行

APFグループについて

経営改革と黒字転換

2009年9月期における当社の取り組み

■ 2009年9月期第3四半期末までの経営成績と直近のピックス

第3四半期累計の業績進捗について

各事業セグメントの概況

海外上場企業の連結子会社化

連結子会社化による業績への効果

転換社債(CB)による資金調達

■ 今後の事業方針と見通しについて

グループ事業の方向性

2009年9月期通期連結業績予想

株主還元についての方針

会社概要と沿革

企業概要

- 会社名: 株式会社ウェッジホールディングス
(英語表記: Wedge Holdings CO., LTD.)

設立: 2001年10月

資本金: 1,189,140,900円

上場市場: 大阪証券取引所 ニッポン・ニュー・マーケット「ヘラクレス」市場

代表者: 代表取締役社長 田代 宗雄

本社所在地: 東京都千代田区神田錦町一丁目1番地 神田橋安田ビル4階

主要事業: コンテンツ事業・物販事業・投資育成事業

グループ会社

◆ 国内

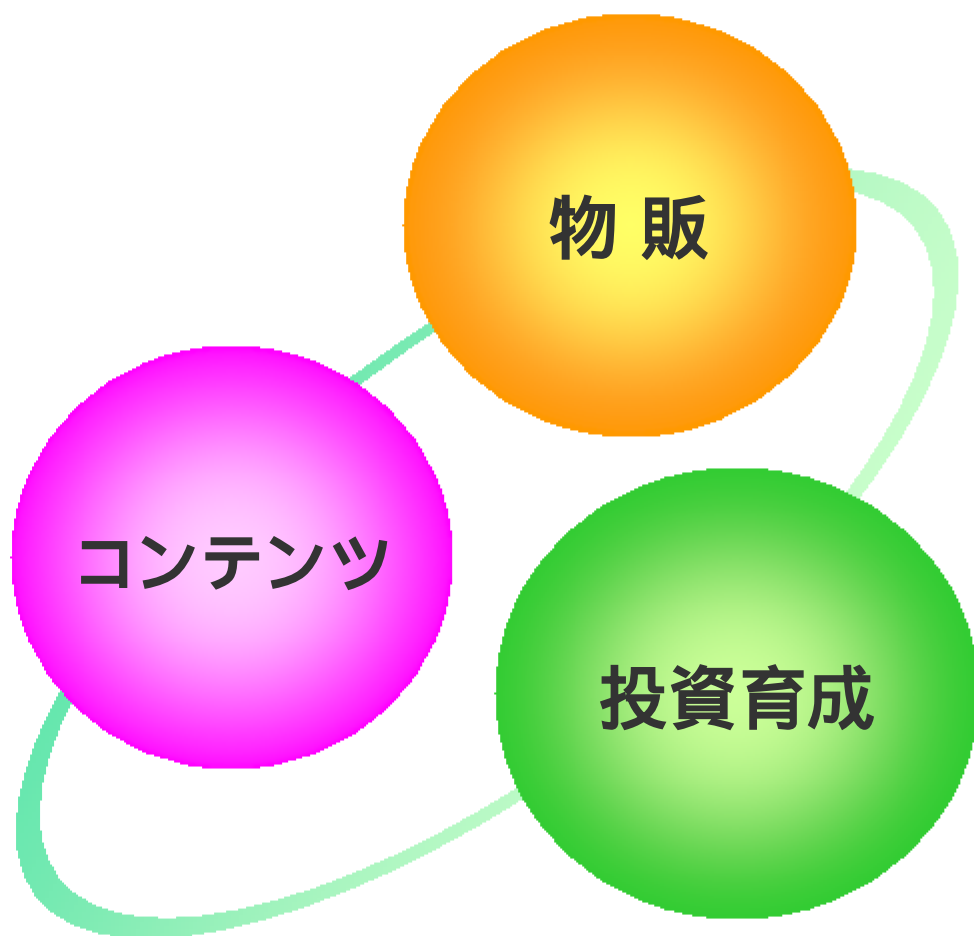
- 株式会社エンジン
- 株式会社エースデューズ
- 株式会社ラディクスモバニメーション
- 株式会社スピニング

◆ 海外

- Group Lease PCL(タイ証券取引所一部上場)
- Engine Holdings Asia PTE(シンガポール)

グループ役職員数 300名 (2009年6月末現在)

3つの事業セグメント



■ 物販事業

キャラクター関連商品事業
商品企画開発

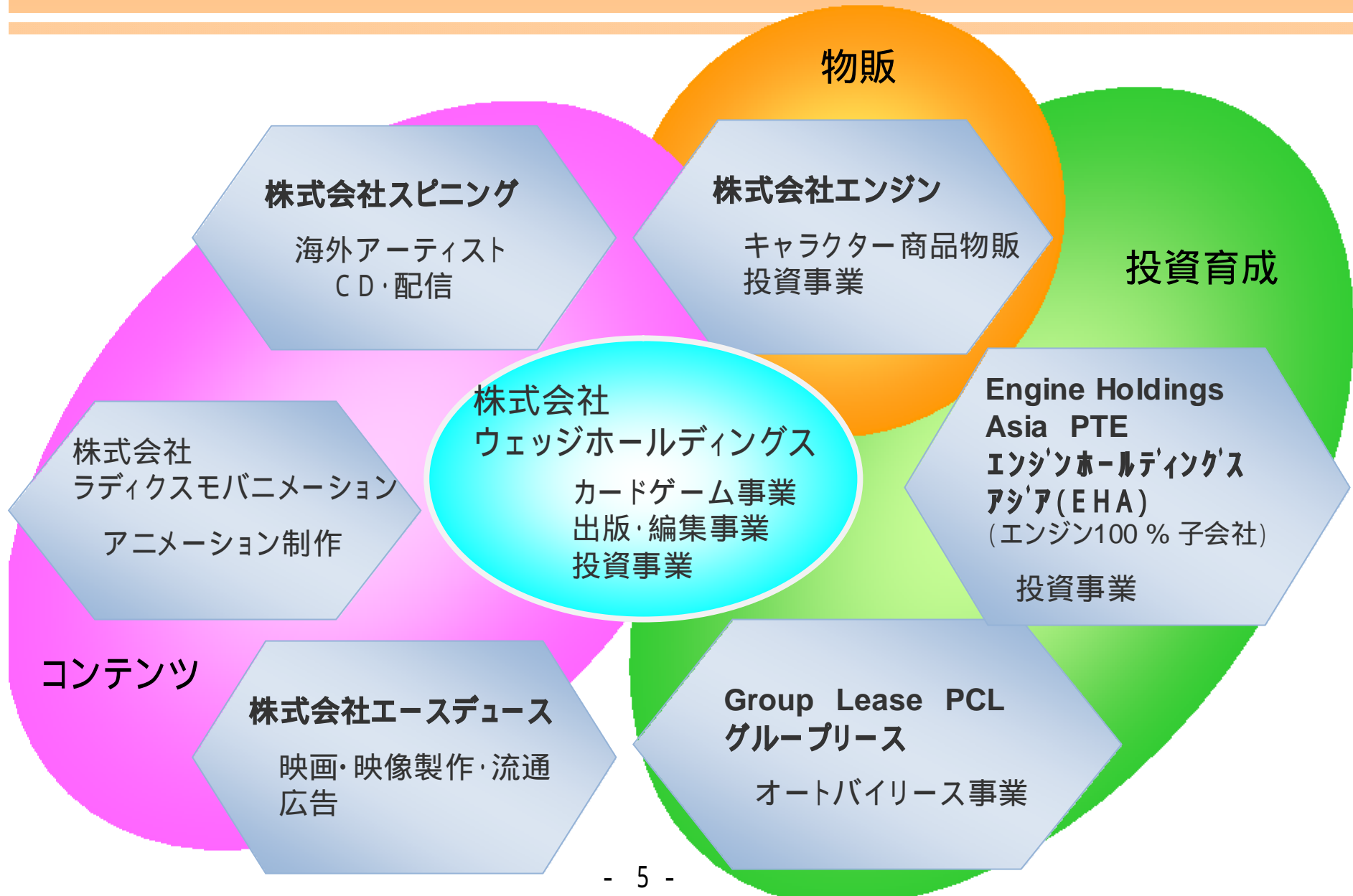
■ コンテンツ事業

カードゲーム・編集・出版・映画・
音楽関連事業

■ 投資育成事業

国内外への投資事業
投資組合等の運営

ウェッジHDグループ各社



コンテンツセグメント 主要事業

カードゲーム事業



カードゲーム
『Chaos - character operating system-』



カードゲーム
『アリス×クロス』

トレーディングカードゲームの
企画・制作コンサルティング

編集・出版事業



『トランスフォーマー
スターゲート戦役』
価格:1,650円(税込)

『ロックマンメガミックス』
価格:1,600円(税込)

エンターテインメント領域の
編集プロダクション・出版事業

映画・映像・音楽 関連事業

小規模作品
を中心に映画
・映像作品を
製作、DVD
パッケージなど
の流通

深夜ドラマ「帝王」
TBS他にて放送中



サラ・バージェス
アルバム『エンブレス』
価格:1,980円(税込)

欧米音楽アーティストの国内プロ
デュース、CDパッケージなどの流通

物販セグメント 主要事業

小売事業

「ブリストー」ブランドでのフィギュア・トイなどのキャラクター商品販売



<http://www.blister.jp/>

「ブリストー」店舗およびECサイトでの販売を展開

卸売事業



「ブリストーダイレクト」ブランドでのキャラクター商品の正規輸入代理店事業

「たのみこむ」事業

商品リクエストサイト「たのみこむ」の運営、企画商品通販

OEM商品企画・販売事業



<http://www.tanomi.com/>

ビートたけし & 所ジョージのアクションフィギュア
価格: 29,800円



投資育成セグメント 主要事業

タイ国内 オートバイリース事業

Group Lease PCLによるオートバイリース事業



その他の投資事業

国内外の優良投資
案件への投資活動

その他の短期投資・
融資事業

グループ沿革

2001年10月 株式会社ブレインナビ設立

- 編集プロダクション事業を中心に展開

2004年1月 大阪証券取引所へラクス市場に株式上場

- 翌年に向け、投資組合組成、投資会社設立と、数社の買収でグループを形成、現在の三事業体制に

2005年7月 会社分割により株式会社ウェッジホールディングスとして持ち株会社に移行

- その後一部の子会社の吸収により事業持ち株会社化
- 業績不振で3年連続の赤字が続く

2007年9月 第三者割当増資によりAPFグループが筆頭株主に

- 2008年9月期を通じて経営改革に取り組む

2007年 3期連続の赤字から現経営体制へ移行

■ 3期連続の赤字で継続前提に疑義

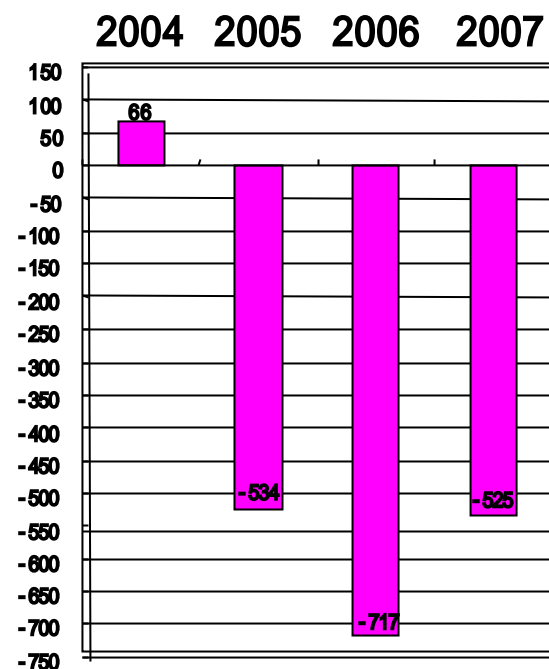
コンテンツ投資の特別損失・在庫評価損など
経営管理領域に問題が多発

M&Aでグループ事業数が増えるも経営基盤
整備が遅れ混乱も

■ 2007年APFグループの出資により、 新経営体制に移行

友好的M&Aのもと、APFからのマネジメントが
経営管理領域を中心に経営を支援

従来のマネジメントはコンテンツ等制作業務
に注力、改革に積極的に協力



(単位: 百万円)

■ 当期純利益額

APFグループについて

■ アジア・パートナーシップ・ファンドグループ

代表者 此下益司(当社取締役会長)

本拠地 バンコク

運用資産 約1000億

主なグループ会社

◆ユナイテッドセキュリティーズ(タイ一部上場証券会社)

◆APF インターナショナルインシュアランス(タイ 損害保険会社 非上場)

◆昭和ゴム株式会社(東証二部上場)

◆明日香食品株式会社(非上場) 等

■ 企業投資についての特徴

徹底したBuy & Holdでの長期保有型投資

投資先企業へのハンズオンでの経営参画

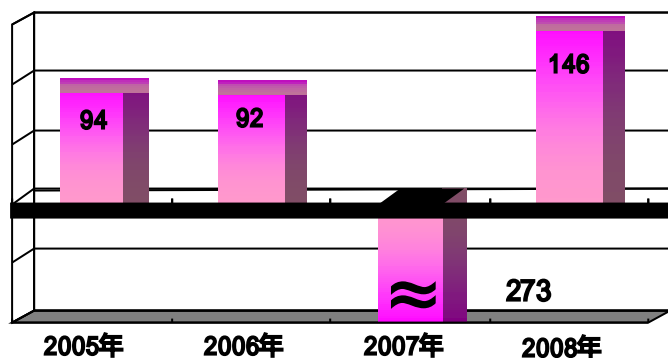
**東南アジアに基盤を持つ日本人経営の投資会社
徹底したBUY&HOLDなど、独自の投資スタイルを徹底**

経営改革と黒字転換

- 約1年の改革を経て4期ぶりに黒字転換
- 継続疑義も解消し 新たな成長フェーズを目指す

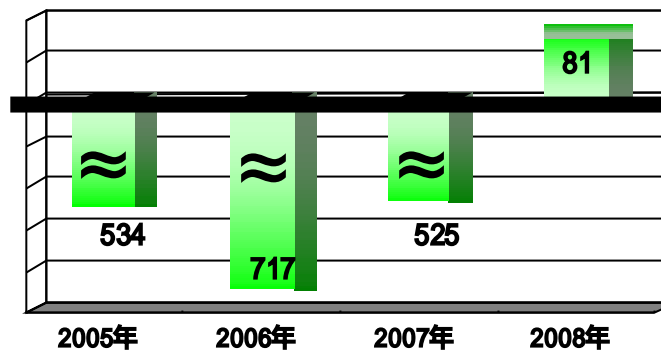
	2005年9月期	2006年9月期	2007年9月期	2008年9月期	2009年9月期 (予想)
売上高	1,337	3,277	2,593	2,139	2,600
営業利益	94	96	265	62	130
経常利益	94	92	273	146	260
当期純利益	534	717	525	81	150

【経常利益】



【当期純利益】

(単位: 百万円)



2009年9月期における当社の取り組み

■ 資本増強による経営基盤強化

- ◆2009年3月APFグループを中心に第三者割当増資を実施
約8.4億円を調達し財務体質を強化

■ グループ事業の選択と再編

◆不採算事業の縮小・固定費削減

- タレント事業・アニメーション事業等は縮小
- 国内子会社事業所を移転統廃合、国内拠点数は7ヶ所 3ヶ所へ

◆収益事業への投資強化

- カードゲーム等収益事業での事業体制強化
- 投資育成事業での投資機会確保、子会社設立、高収益子会社についての株式追加取得等

2009年9月期第3四半期末までの
経営成績と直近のトピックス

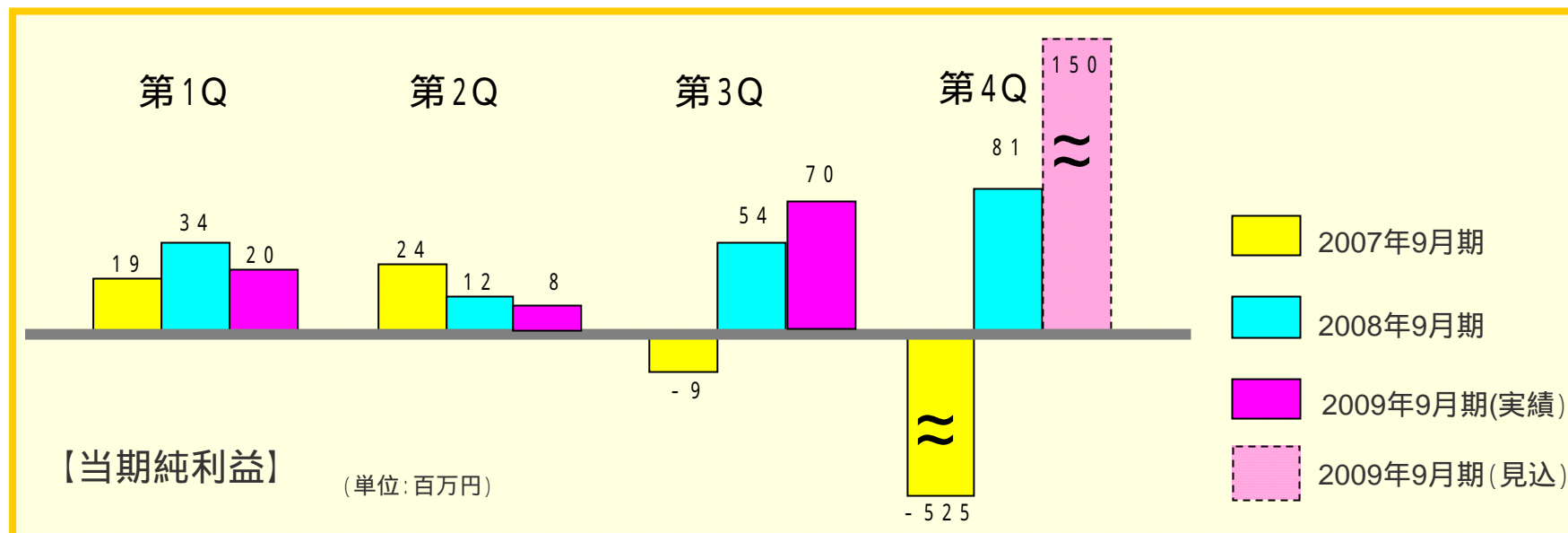
第3四半期累計の業績進捗について

第3四半期で、対前年比較で純利益増に

(単位:百万円)

■ 連結経営成績

	2009年9月期 第3四半期累計	(参考)2008年9月期 第3四半期累計	対前年比
売上高	1,360	1,524	89.2%
営業利益	58	11	-
経常利益	90	66	136.4%
当期純利益	70	54	129.6%



各事業セグメントの概況

コンテンツ・物販が見通しを下回るが、
投資育成事業の持分法適用利益が成長し強力に支える

物販

売上高4億65百万円
営業利益 40百万円

米国メーカー商材に発売中止、延期などが多発、収益機会ロスに

OEM事業は独自路線で国内商材を開発し、堅調に推移

コンテンツ

売上高8億52百万円
営業利益 41百万円

映画・映像関連パッケージの収益不振続く、DVD販売など

カードゲーム事業は高収益体制を維持、好調

投資育成

売上高42百万円
営業利益5百万円
持分法適用利益
145百万円

グループリース持分適用利益が好調、連結子会社化に伴う連結期間拡大で大幅増収

海外上場企業の連結子会社化

- タイ一部上場企業のグループリース株式を過半数取得、7月1日より連結子会社化

グループリース社の概要

- ◆ 名称 Group Lease Public Company Limited
- ◆ 設立 1986年5月
- ◆ 資本金 270百万バーツ
- ◆ 代表者 Samart Chiradamrong (Vice Chairman)
- ◆ 所在地 タイ王国 バンコク
- ◆ 事業内容 オートバイリース事業 (タイ国内シェア4位)



<グループリース社>
タイ一部証券市場上場 コード GL
ホームページ (英語) <http://www.grouplease.co.th/en/index.html>



連結子会社化による業績への効果

■ 売上高・各利益指標の大幅向上に貢献

売上高は約2倍、総資産は約4倍となる大型子会社化

これまでの持分法適用利益だけではなく売上高・営業利益から収益取り込むことで、損益の構造は大幅に改善

(単位:百万円)

	ウェッジHD	グループリース
比較年度	2008年9月期	2008年12月期
売上高	2,139	2,273
純利益	81	558
総資産	2,521	6,923

■ 成長領域である東南アジアの高収益事業を新たな中核事業として取り込み、今後の成長を加速

今後も安定的収益が期待されるだけでなく、新たな事業拡張機会の増加、事業展開拠点確保に貢献

転換社債(CB)による資金調達

■ 2009年8月24日、総額約8億円の資金調達を発表

- ◆筆頭株主であるAPFホールディングス株式会社への第三者割当により資金を調達。

旧社債(MSCB)償還原資として財務リスク縮小

- ◆2006年に発行したMSCBの償還に4.6億を充当
- ◆旧社債は28日償還完了、財務リスク縮小
- ◆APFグループの全面的支援の元、資金需要を満たすと共に、今後の転換が進むことにより財務体質を大幅に改善見込み

オートバイリース事業の成長に向けた投資資金を確保

- ◆調達資金のうち約3.4億はオートバイリース事業の拡大のため確保。投資機会にあわせ積極的に活用予定。

成長に向け、財務・資本政策を積極化

今後の事業方針と見通しについて

グループ事業の方向性

- 経済状況を踏まえた方針であった、投資育成の「攻め」・コンテンツ・物販での「守り」の姿勢は当面継続予定

<投資育成事業>

東南アジア等
成長領域の拡張

- アジアで保有する事業インフラと、事業機会を活用、成長を促進
- 投資育成事業を通じた、新たなグループ中核事業獲得も積極的に推進

<コンテンツ・物販>

経営管理体制
整備を継続、業務改善

- 将来の事業規模拡大に耐えられる本部組織の拡充を進める
- 進めてきた体制強化を生かし、コンテンツ事業に代表される、経営管理が重要となる事業領域で、積極的な成長を狙う

2009年9月期通期連結業績予想

(単位:百万円)

	2009年9月期 (予想)	2008年9月期 (参考)	対前年比
売上高	2,600	2,139	121.6%
営業利益	130	62	209.7%
経常利益	260	146	178.1%
当期純利益	150	81	185.2%

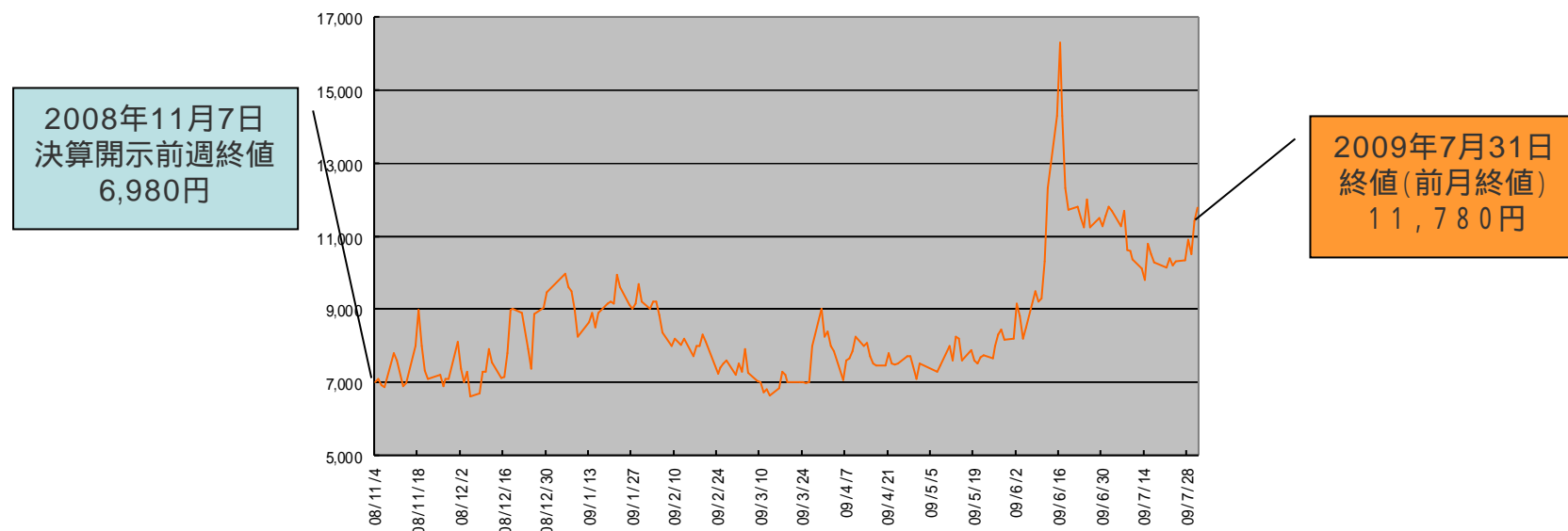
- 8月7日、グループリースの連結効果を踏まえ業績予想修正を実施
コンテンツ事業・物販事業の進捗不振と収益機会減少を踏まえ、純利益は
下方修正するも、対前年比では85%増を見込む
売上高・営業利益予想は上方修正、不採算事業の圧縮に伴う売上高減少
を飲み込み、売上高拡大傾向に

株主還元についての方針

■ 株価回復による還元を第一とする

業績向上を背景にした株価の回復での株主利益を最重視。

◆ 株式市場回復もあり、前期決算発表前と2009年7月末で約140%まで回復



■ 株主還元策の早期具体化は検討中

現在は持分法適用利益や配当収入・ロイヤリティ収入の拡大など収益構造の安定化が見込める状況に

投資機会、資金需要は旺盛だが利益構造改善を背景に早期の復配を目指す
株主優待: グループの資源を活用した施策を検討中



ご清聴ありがとうございました

弊社IRに関するお問い合わせ先

株式会社ウェッジホールディングス
経営管理本部

TEL: 03-5217-0721

FAX: 03-5217-0722

wedge-ir@wedge-hd.com

弊社ホームページ: <http://www.wedge-hd.com/>

本資料には将来に関する記述が含まれていますが、これらの記述は将来の業績を保証するものではありません。また、本資料の内容に関しては未監査であり、その内容の正確性および確実性を保証するものではありません。